

令和7年度プラスチックごみおよび食品ロス問題に関する県民意識について

【調査概要】

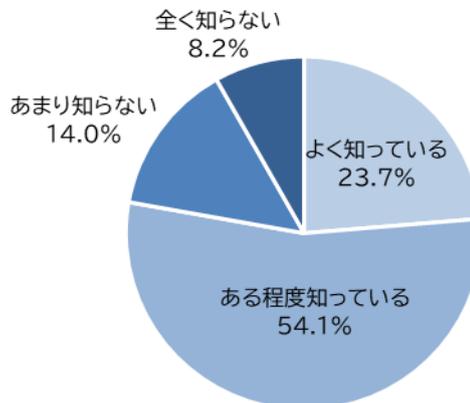
実施日 : 令和7年7月4日～7月31日
 対象者 : 県内に居住する18歳以上の県民
 サンプル数 : 2,000人
 調査方法 : WEBにより調査
 抽出方法 : 調査委託業者のモニターから無作為に抽出
 設問数 : 12問

【調査結果】

Q1 あなたは、「プラスチックごみ」が問題となっていることを知っていましたか。

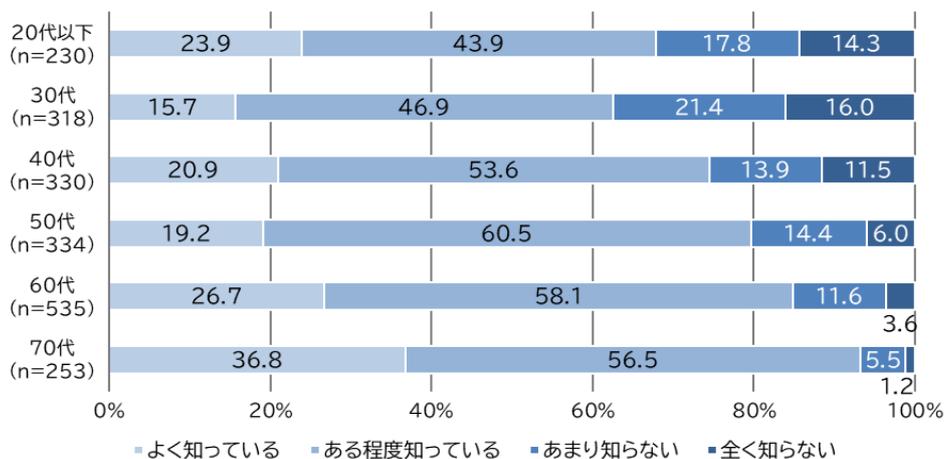
答え 1つ

Q1 プラスチックごみが問題となっていることに関する認識



・プラスチックごみの問題を「よく知っている」、「ある程度知っている」と回答した割合は 77.8%となり、約8割の県民がプラスチックごみが問題となっていることを認識している結果となった。

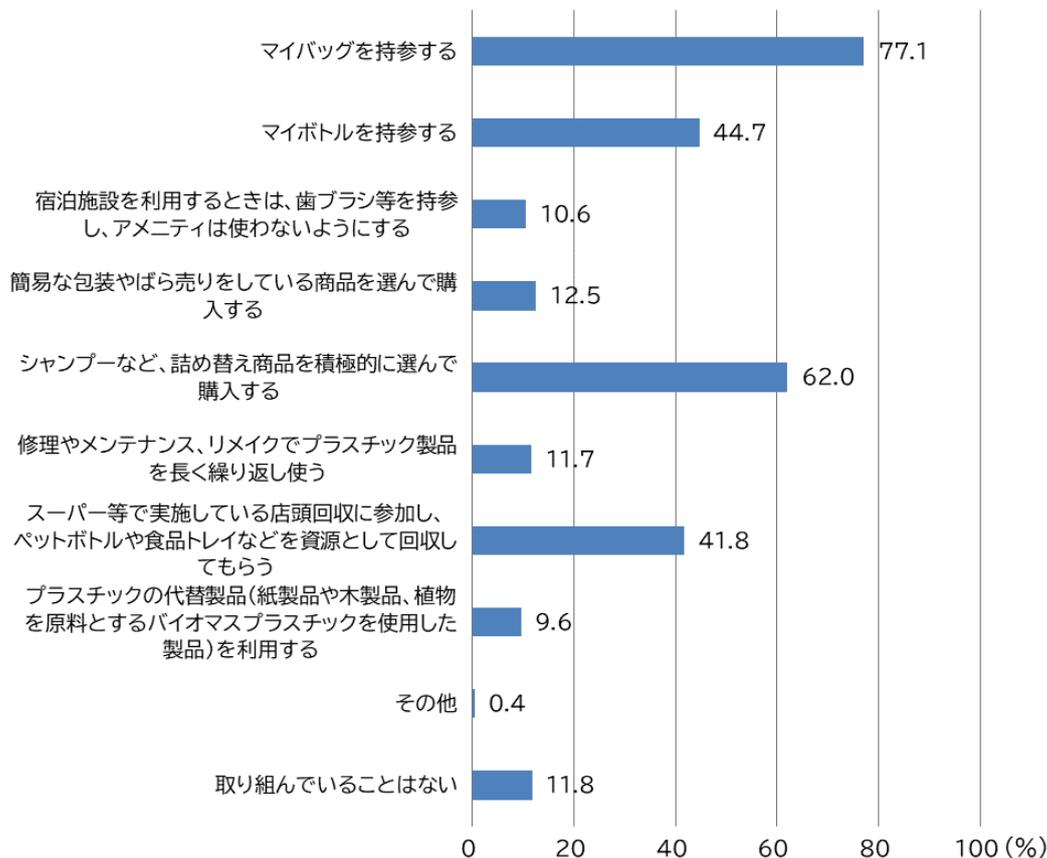
Q1 プラスチックごみが問題となっていることに関する認識(年代別)



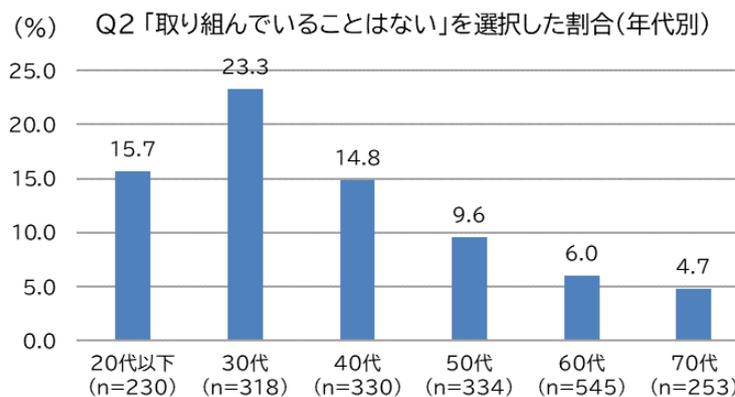
・年代別に見ると、30代～70代にかけては年代が高いほど、プラスチックごみ問題の認知度が高い傾向がある。

Q2 あなたは、「プラスチックごみ」を減らすために取り組んでいることはありますか。
 答え いくつでも

Q2 個々人におけるプラスチックごみ削減の取組



・個々人におけるプラスチックごみ削減の取組としては、「マイバッグを持参する(77.1%)」、「シャンプーなど、詰め替え商品を積極的に選んで購入する(62.0%)」、「マイボトルを持参する(44.7%)」、「スーパー等で実施している店頭回収に参加し、ペットボトルや食品トレイなどを資源として回収してもらう(41.8%)」の順に多く選択された。

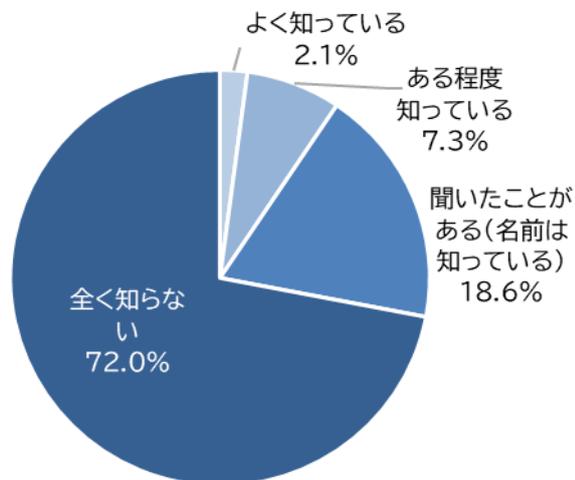


・「取り組んでいることはない」を選択した割合を年代別に見ると、若い世代で高くなっている。

Q3 あなたは、毎月一日の「しがプラチャレンジの日」を知っていましたか。

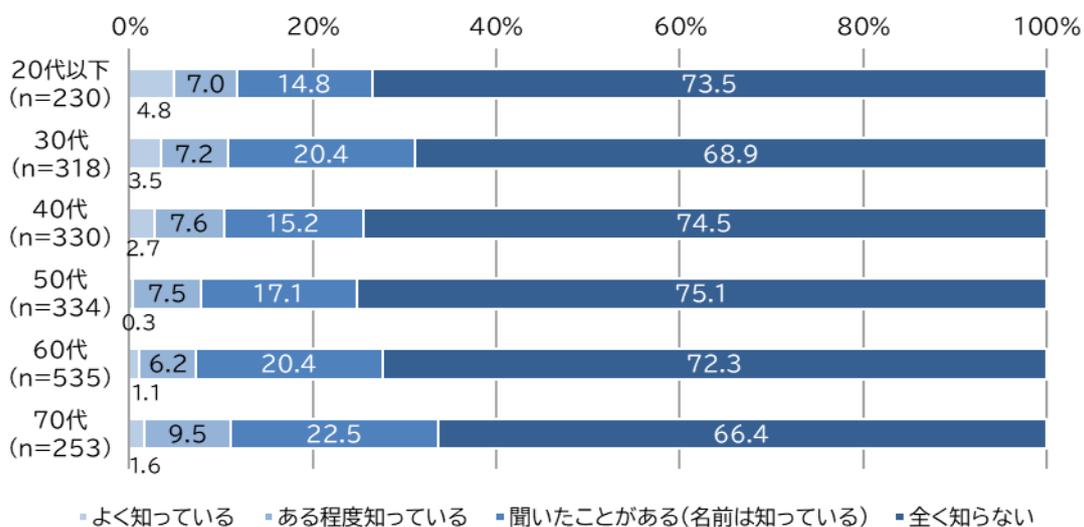
答え 1つ

Q3 しがプラチャレンジの日の認知度



・「しがプラチャレンジの日」について、「よく知っている」、「ある程度知っている」、「聞いたことがある(名前は知っている)」と回答した割合は 28.0%となり、約四人に一人に認知されている結果となった。

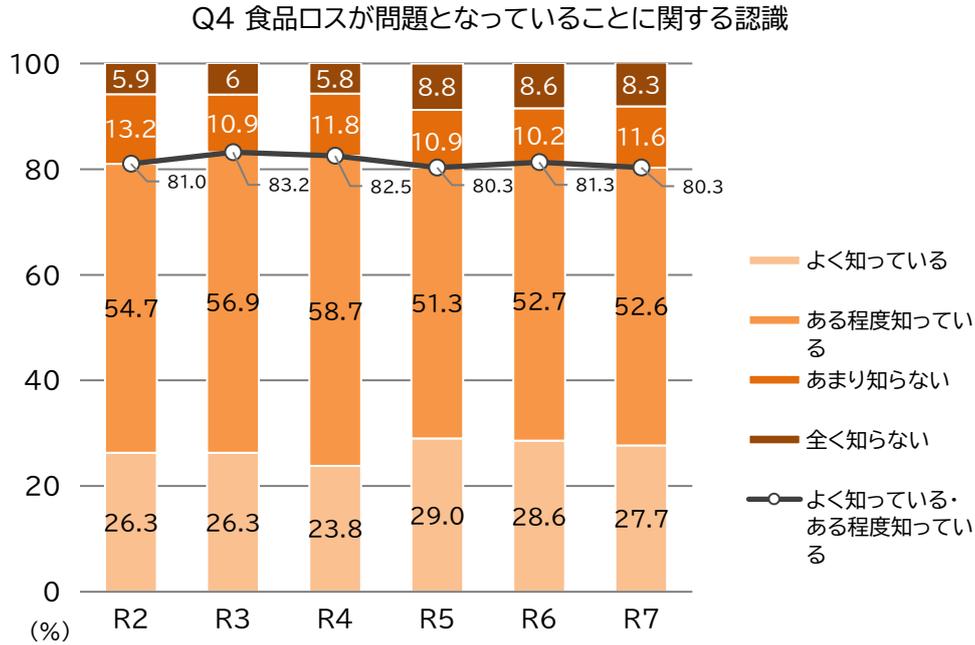
Q3 しがプラチャレンジの日の認知度(年代別)



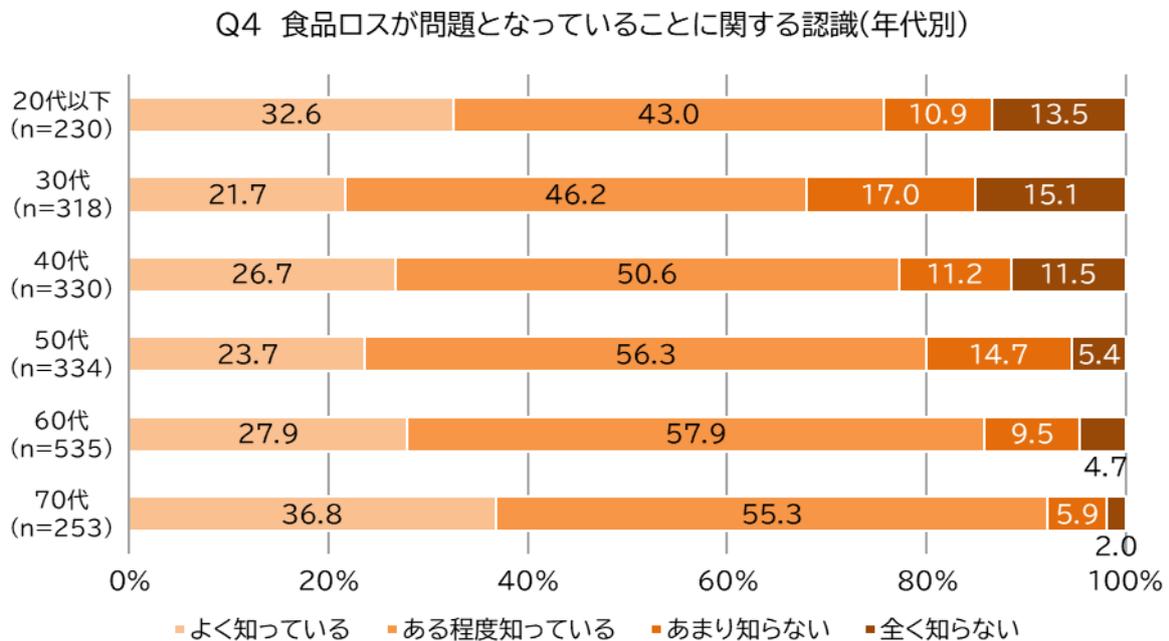
・年代ごとに大きな差はないものの、30代と70代で認知度が高くなっている。

Q4 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていましたか。

答え 1つ



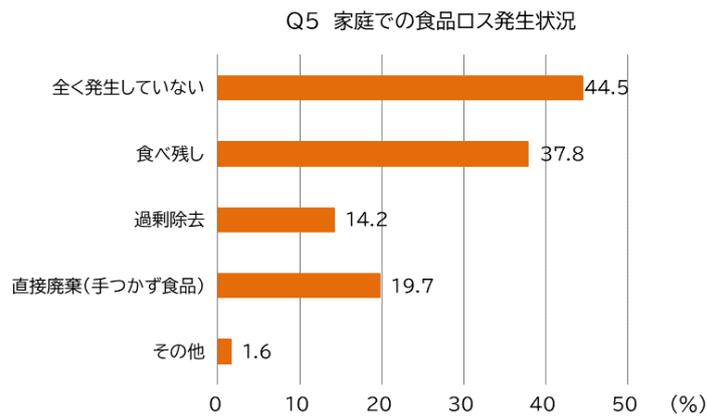
・食品ロスが問題となっていることに関する認識について、「よく知っている」、「ある程度知っている」と答えた人が前年と比べて1ポイント少なくなった。



・年代別に見ると、30代～70代にかけては年代が高いほど、食品ロス問題の認知度が高い傾向がある。

Q5. あなたの家庭(飲食店の食事を除く)では、どのような「食品ロス」が発生していますか。

答え 「1. 全く発生していない」を選択した場合を除き、いくつでも



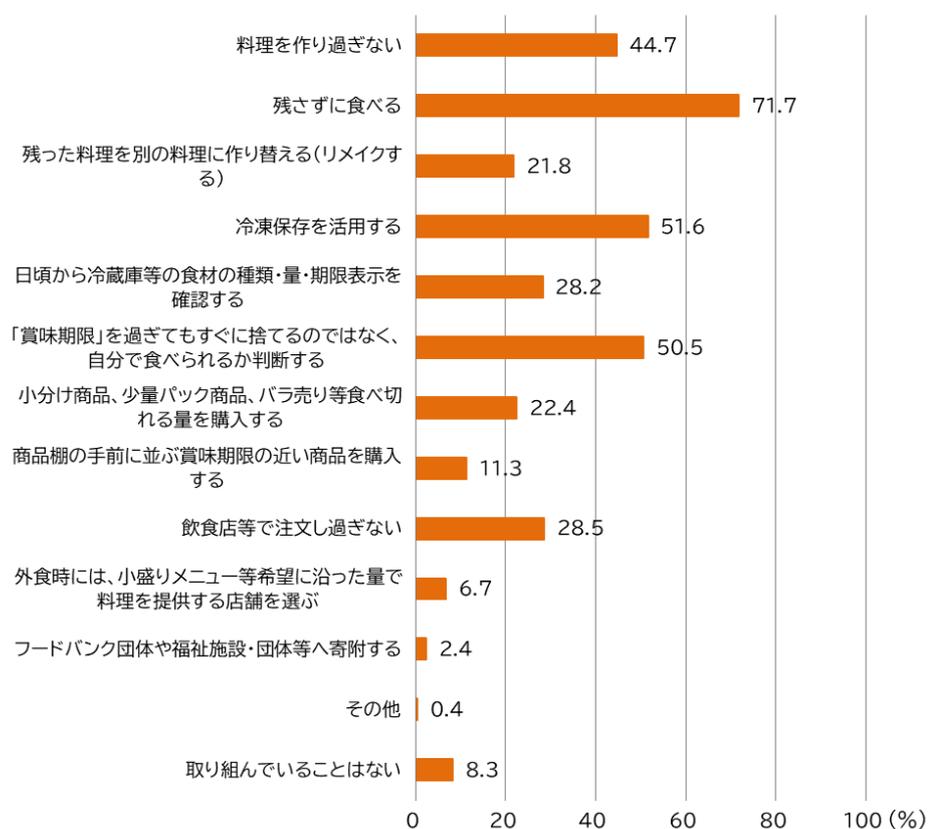
・「全く発生していない」と回答したのは44.5%であった。

・家庭で生じる食品ロスは、「食べ残し(37.8%)」、「直接廃棄(手つかず食品)(19.7%)」、「過剰除去(14.7%)」の順に多く選択された。

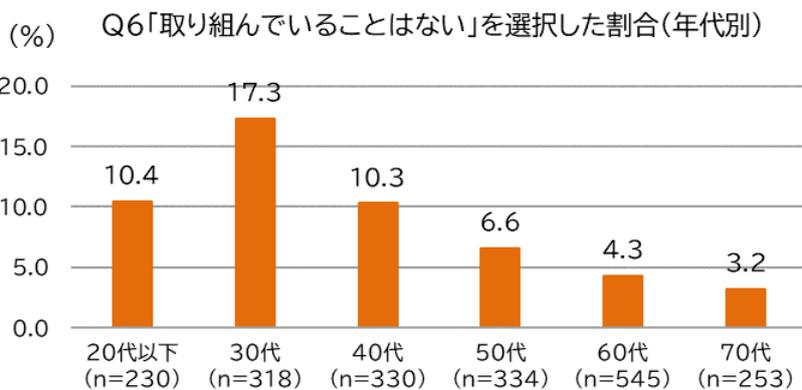
Q6 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。

答え いくつでも

Q6 個々人における食品ロス削減の取組



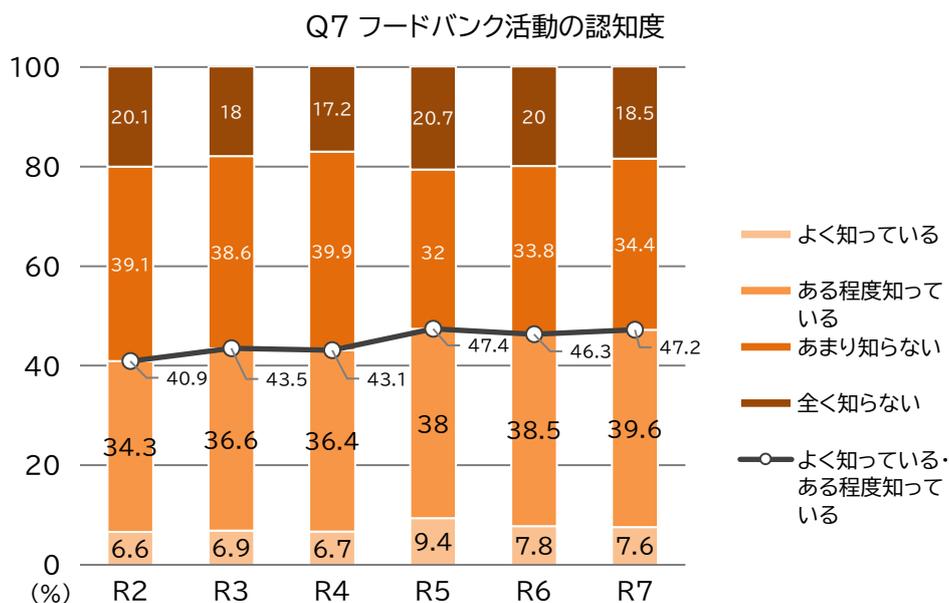
・個々人における食品ロス削減の取組としては、「残さずに食べる(71.7%)」、「冷凍保存を活用する(51.6%)」、「『賞味期限』を過ぎててもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する(50.5%)」、「料理を作り過ぎない(44.7%)」、「飲食店等で注文し過ぎない(28.5%)」の順に多く選択された。



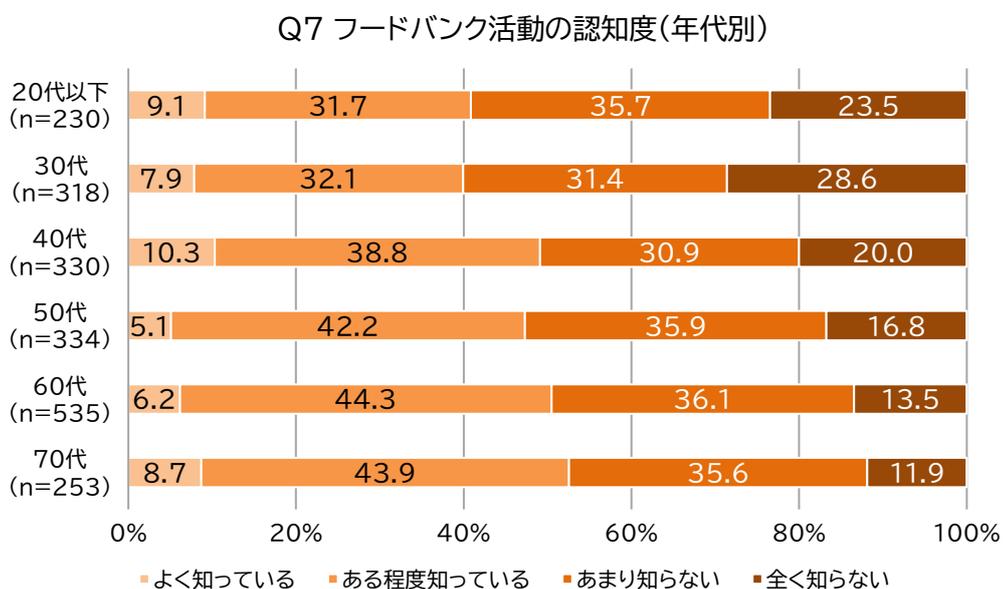
・「取り組んでいることはない」を選択した割合を年代別に見ると、若い世代で高くなっている。

Q7 あなたは、フードバンク活動を知っていますか。

答え 1つ



・フードバンク活動の認知度について、「よく知っている(7.6%)」、「ある程度知っている(39.6%)」と回答した割合は 47.2%となり、約半数の県民がフードバンク活動を認知している結果となった。

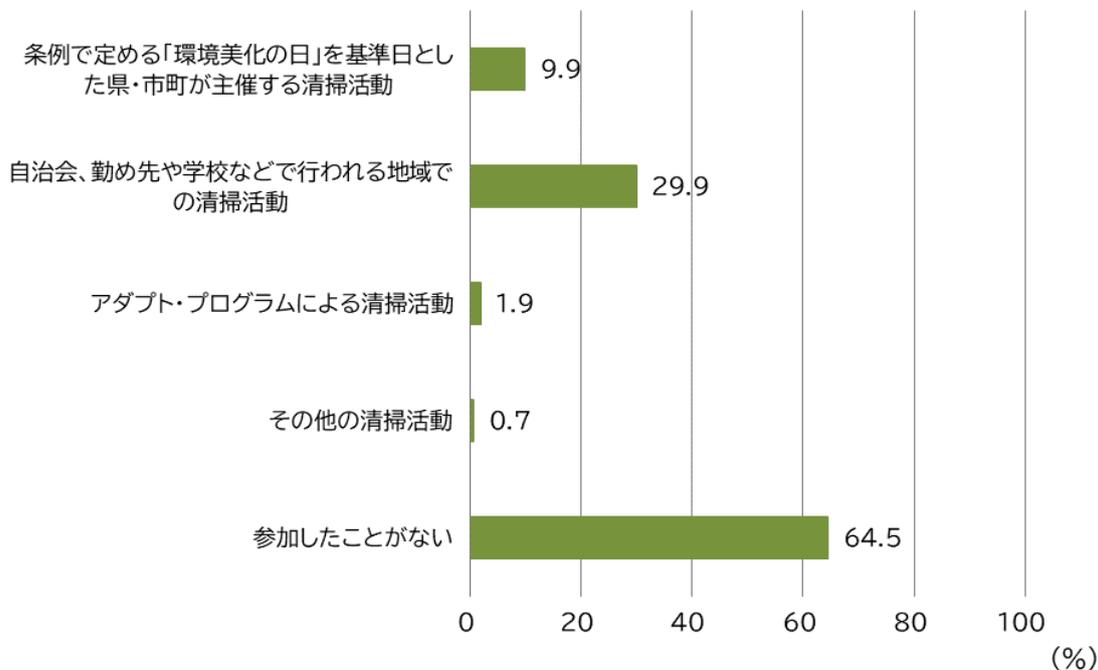


・30代~70代にかけては年代が高いほど、フードバンク活動の認知度が高くなる傾向がある。

Q8.あなたは、この1年(昨年7月～今年7月)の間に、清掃活動に参加したことがありますか。

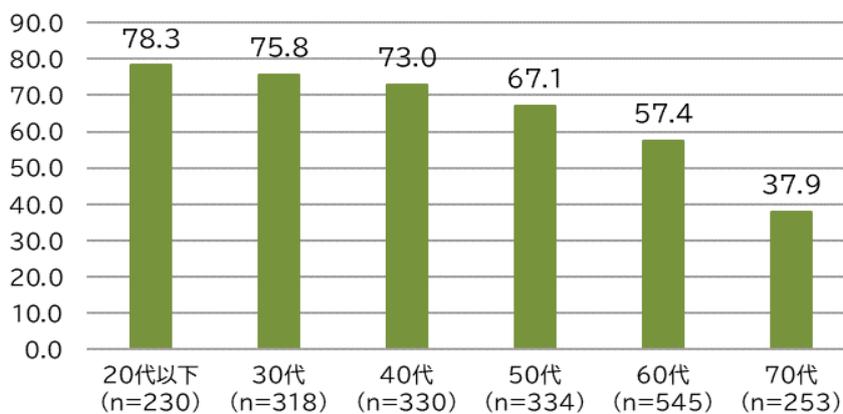
答え「5. 参加したことがない」を選択した場合を除き、いくつでも

Q8 清掃活動への参加状況(2024年7月～2025年7月)



・「参加したことがない(64.5%)」が最も多く、次に多かったのは「自治会、勤め先や学校などで行われる地域での清掃活動(29.9%)」であった。

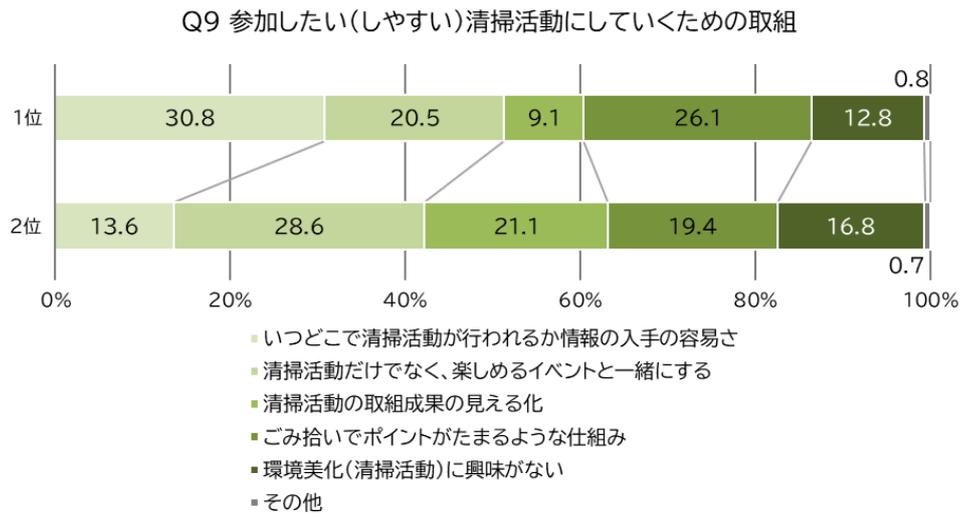
Q8「参加したことはない」を選択した割合(年代別)
(%)



・「参加したことはない」を選択した割合を年代別に見ると、若い年代ほど高い傾向がある。

Q9. 参加したい(参加しやすい)清掃活動にしてくためにはどのような取組が有効だと思いますか。

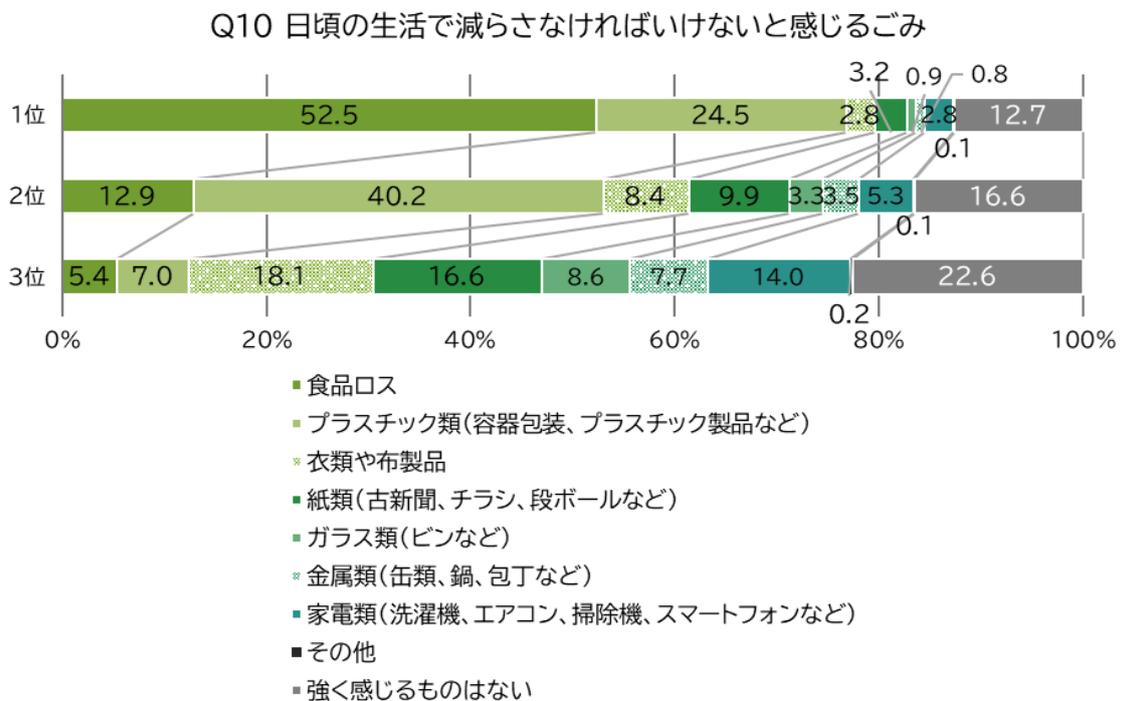
答え 上位2つ



・1位には、「いつどこで清掃活動が行われるか情報の入手の容易さ(30.8%)」、「ごみ拾いでポイントがたまるような仕組み(26.1%)」、「清掃活動だけでなく、楽しめるイベントと一緒にする(20.5%)」が順に選ばれた。

Q10. 日頃の生活で、捨てる量を「減らさなければいけない」と強く感じるもの。

答え 上位3つ

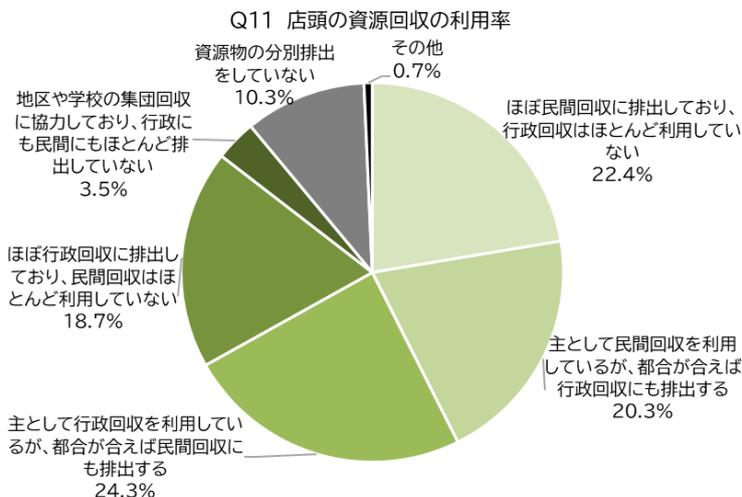


・1位には、「食品ロス(52.5%)」、「プラスチック類(容器包装、プラスチック製品など)(24.5%)」、「紙類(古新聞、チラシ、段ボールなど)(3.2%)」が順に選ばれた。

・2位には「プラスチック類(容器包装、プラスチック製品など)(40.2%)」、「食品ロス(12.9%)」、「紙類(古新聞、チラシ、段ボールなど)(9.9%)」が順に選ばれた。

Q11. スーパーマーケット等の店頭で設置されている資源回収ボックスなど、行政が関与しない民間による資源回収が行われています。こうした民間回収をどの程度利用していますか。

答え 1つ

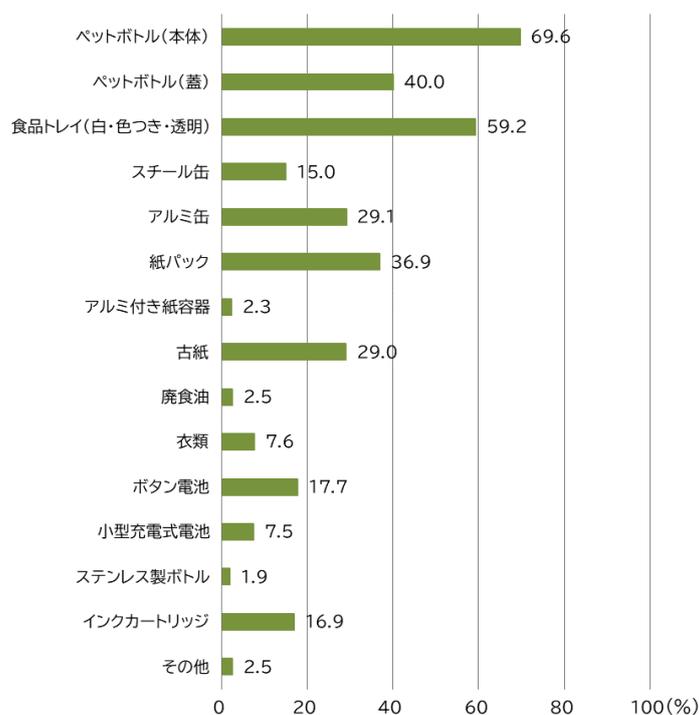


・「主として行政回収を利用しているが、都合が合えば民間回収にも排出する(24.3%)」、「ほぼ行政回収に排出しており、民間回収はほとんど利用していない(22.4%)」、「主として民間回収を利用しているが、都合が合えば行政回収にも排出する(20.3%)」が順に選ばれた。

Q11. (Q11に対応 01~03 を選択した場合)スーパーマーケット等の店頭回収で利用している品目はどれですか。

答え いくつでも

Q11 店頭回収で利用している品目



・「ペットボトル(本体)(69.6%)」、「食品トレイ(白・色つき・透明)(59.2%)」、「ペットボトル(蓋)(40.0%)」、「紙パック(36.9%)」が順に選ばれた。

(参考)アンケート設問項目

・このアンケートでは、あなたの日常生活の中でのごみに関することについてお聞きします。
・設問は全12問で、Q.1～Q.3まではプラスチックごみ、Q.4～Q.7までは食品ロス、Q.8～Q.9までは清掃活動、Q.10～Q.12まではその他廃棄物に関する設問です。

F1 あなたの性別は？

01. 男性 02. 女性 03. その他

F2 あなたの年齢は？

01. 18歳から19歳 02. 20歳代 03. 30歳代
04. 40歳代 05. 50歳代 06. 60歳代
07. 70歳代

F3 あなたのお住まいは？

01. 大津市 02. 草津市 03. 守山市
04. 栗東市 05. 野洲市 06. 甲賀市
07. 湖南市 08. 東近江市 09. 近江八幡市
10. 日野町 11. 竜王町 12. 彦根市
13. 愛荘町 14. 多賀町 15. 豊郷町
16. 甲良町 17. 長浜市 18. 米原市
19. 高島市

1. プラスチックごみに関する質問(Q1.～Q3.)

・世界では、プラスチックごみが川などを通じて内陸から海に流れ込み、生態系を含めた環境の悪化が問題となっています。
・プラスチックごみ問題に対応するため、滋賀県では、毎月一日を「しがプラチャレンジの日」と設定し、県民のみなさんに、日常生活を見つめ直し、プラスチックごみ削減の取組にチャレンジしていただくことを呼びかけています。

Q1. あなたは、「プラスチックごみ」が問題となっていることを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 01.よく知っている
02.ある程度知っている
03.あまり知らない
04.全く知らない

Q2. あなたは、「プラスチックごみ」を減らすために取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 01.マイバッグを持参する
- 02.マイボトルを持参する
- 03.宿泊施設を利用するときは、歯ブラシ等を持参し、アメニティは使わないようにする
- 04.簡易な包装やばら売りをしている商品を選んで購入する
- 05.シャンプーなど、詰め替え商品を積極的に選んで購入する
- 06.修理やメンテナンス、リメイクでプラスチック製品を長く繰り返し使う
- 07.スーパー等で実施している店頭回収に参加し、ペットボトルや食品トレイなどを資源として回収してもらう
- 08.プラスチックの代替製品(紙製品や木製品、植物を原料とするバイオマスプラスチックを使用した製品)を利用する
- 09.その他()
- 10.取り組んでいることはない

Q3. あなたは、毎月一日の「しがプラチャレンジの日」を知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 01.よく知っている
- 02.ある程度知っている
- 03.聞いたことがある(名前は知っている)
- 04.全く知らない

2. 食品ロス問題について(Q4. ~Q6.)

・食品ロスとは、家庭や飲食店等で「食べられるのに廃棄される食品」のことです。
 ・食品ロスの発生量は、国全体で年間約472万トン(令和4年度推計)と推計され、国民1人当たり1日約103g(おにぎり約1個分)発生しています。
 ・家庭から出る食品ロスは、食べ残し、過剰除去(野菜の皮を厚く剥き過ぎたり、可食部分を過剰に取り除いてしまうこと。)、直接廃棄(賞味期限切れ等により、手つかずのまま廃棄してしまうこと。)が原因と言われています。

Q4. あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

- 01.よく知っている
- 02.ある程度知っている
- 03.あまり知らない
- 04.全く知らない

Q5. あなたの家庭(飲食店の食事を除く)では、どのような「食品ロス」が発生していますか。「1. 全く発生していない」を選択した場合を除き、あてはまるものすべて選んでください。

- 01.全く発生していない
- 02.食べ残し
- 03.過剰除去
- 04.直接廃棄(手つかず食品)

05.その他()

Q6. あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 01.料理を作り過ぎない
- 02.残さずに食べる
- 03.残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)
- 04.冷凍保存を活用する
- 05.日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
- 06.「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
- 07.小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べ切れる量を購入する
- 08.商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する
- 09.飲食店等で注文し過ぎない
- 10.外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ
- 11.フードバンク団体や福祉施設・団体等へ寄附する
- 12.その他()
- 13.取り組んでいることはない

Q7.あなたは、フードバンク活動※を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

※フードバンク活動とは、賞味期限内にもかかわらず、様々な理由により食品関連事業者による販売が困難となった食品などの寄付を受けて福祉施設や食べ物に困っている方々に無償で提供する取組です。フードドライブなどを通じて、家庭で余っている食品を集め、無償で提供する場合があります。

- 01.よく知っている
- 02.ある程度知っている
- 03.あまり知らない
- 04.全く知らない

3. 清掃活動について(Q8. ~Q9.)

Q8.あなたは、この1年(昨年7月~今年 7 月)の間に、清掃活動に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものすべて選んでください。

- 01.条例で定める「環境美化の日※1」を基準日とした県・市町が主催する清掃活動
※1 滋賀県ごみの散乱防止に関する条例で定める環境美化の日(5月30日、7月1日、12月1日)
- 02.自治会、勤め先や学校などで行われる地域での清掃活動
- 03.アダプト・プログラム※2 による清掃活動
※2 県民・市民と行政が進める公共の場所での清掃活動(例:淡海エコフォスター制度など)
- 04.その他の清掃活動
- 05.参加したことがない

Q9.参加したい(参加しやすい)清掃活動にしてくためにはどのような取り組みが有効だと思いますか、有効だと思う順に上位2つを選んでください。

- 01.いっどこで清掃活動が行われるか情報の入手の容易さ

- 02.清掃活動だけでなく、楽しめるイベントと一緒にする(楽しめるイベント例:)
- 03.清掃活動の取組成果の見える化
- 04.ごみ拾いでポイントがたまるような仕組み
- 05.環境美化(清掃活動)に興味がない
- 06.その他()

3. その他廃棄物について(Q10. ~Q12.)

Q10. 日頃の生活で、捨てる量を「減らさなければならない」と強く感じる順に上位3つを選んでください。

- 01.食品ロス
- 02.プラスチック類(容器包装、プラスチック製品など)
- 03.衣類や布製品
- 04.紙類(古新聞、チラシ、段ボールなど)
- 05.ガラス類(ビンなど)
- 06.金属類(缶類、鍋、包丁など)
- 07.家電類(洗濯機、エアコン、掃除機、スマートフォンなど)
- 08.その他()
- 09.強く感じるものはない

Q11. スーパーマーケット等の店頭には設置されている資源回収ボックスなど、行政が関与しない民間による資源回収が行われています。こうした民間回収をどの程度利用していますか。次から1つを選んでください。

- 01.ほぼ民間回収に排出しており、行政回収はほとんど利用していない
- 02.主として民間回収を利用しているが、都合が合えば行政回収にも排出する
- 03.主として行政回収を利用しているが、都合が合えば民間回収にも排出する
- 04.ほぼ行政回収に排出しており、民間回収はほとんど利用していない
- 05.地区や学校の集団回収に協力しており、行政にも民間にもほとんど排出していない
- 06.資源物の分別排出をしていない
- 07.その他()

Q12. (Q11 に対応 01~03 を選択した場合)スーパーマーケット等の店頭回収で利用している品目はどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。

- 01.ペットボトル(本体)
- 02.ペットボトル(蓋)
- 03.食品トレイ(白・色つき・透明)
- 04.スチール缶
- 05.アルミ缶
- 06.紙パック
- 07.アルミ付き紙容器
- 08.古紙
- 09.廃食油

- 10.衣類
- 11.ボタン電池
- 12.小型充電式電池
- 13.ステンレス製ボトル
- 14.インクカートリッジ
- 15.その他()